vinetur

中国、輸入ワインの数量が5.2%減る一方で支出は11億7,000万ドル

1～9月の輸入量は前年同期比で約860万リットル減少し、輸入額から算出した平均単価は11.5%上昇

2026年11月19日（木）



市場調査会社が11月18日（水）に発表したデータによると、中国は今年1～9月、輸入ワインの数量が減ったにもかかわらず、支出額は増加した。データは1リットル当たりの平均輸入額が上昇したことを示しており、輸入量全般の拡大が支出増につながったわけではないことをうかがわせる。

中国の市場情報会社AskCIによると、1～9月の全供給国からのワイン輸入量は1億5,700万リットルで、前年同期比5.2%減少した。同期間の輸入額は5.7%増の11億7,100万ドルとなった。

AskCIが公表した概数に基づくと、中国の輸入量は前年同期より約860万リットル減った一方、支出額は約6,310万ドル増えた。輸入額から算出した平均単価は1リットル当たり約7.46ドルで、11.5%

上昇した。

平均単価の上昇だけでインフレを測ることはできない。輸入品の構成、たとえば瓶詰めワインとバルクワインの比率や供給国の変化、為替の影響も反映される可能性がある。公表された数値が示すのは名目輸入額であり、小売価格の変動ではない。

9月の数値は、累計の傾向を上回る伸びを示した。AskCIによると、中国の9月の輸入量は前年同月比24.6%増の1,830万リットル、輸入額は61.4%増の1億5,900万ドルだった。

ただし、9月の前年同月比増加は、輸入量が前月からも伸び続けたことを意味しない。中国の別の業界情報誌Foodmateは11月18日、9月の輸入量は8月を約70万リットル下回り、約3.7%減少したと報じた。前年同月比で大幅に増える一方、前年の比較対象となる数値が低かった場合には、前月比で減少することもある。

9月の結果だけを見れば、輸入が急速に回復しているように映るかもしれない。しかし、1〜9月の累計はより抑制された状況を示している。9月に前年同月比で大幅な増加が報告された後も、累計輸入量は前年同期を下回り、輸入額は実際の輸入量よりも高い伸びを続けた。

中国は引き続き注目度の高い輸入市場であるため、ワイン輸出業者にとってこの動向は重要だ。輸入量が減る一方で輸入額が増える場合、買い手が高価格帯の商品を選んでいる、低価格帯の購入を減らしている、あるいは市場全体で需要を拡大するのではなく、在庫を選別的に調整している可能性がある。

両誌が引用した数値は、税関の原表を直接転載したものではなく、二次的な報道によるものだ。AskCIは11月18日の発表で、自社データベースの数値を基にしたと説明した。Foodmateも11月18日、主要酒類の輸入に関する別の記事で、中国酒類協会と税関の情報を引用した。これらの記事が参照した税関の原表は、独自に確認できなかった。

両誌が公表した累計輸入量には、数値の精度にわずかな違いもある。Foodmateは1〜9月の輸入量を1億5,740万リットルとした一方、AskCIは1億5,700万リットルに丸めている。丸め方の異なる数値を混在させないため、輸入量の減少幅、支出額の増加分、1リットル当たりの平均単価は、AskCIの丸めた数値に基づいて算出した。